2021年5月1日

パルシステム連合会「消費者志向自主宣言」

パルシステム生活協同組合連合会
代表理事理事長　大信　政一

(1)理念

グループ理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」

理念に基づき、消費者と生産者がともにつくる持続可能な社会の実現を志向します。

(2)取り組み方針

理念に基づき「パルシステム 2030 ビジョン」に定める『「たべる」「つくる」「ささえあう」ともにいきる地域づくり』を実践します。SDGs(国連が定める「持続可能な開発目標」)が示す「誰も置き去りにすることなく、すべての人にとって尊厳ある生活を現実のものとする」と同じ視点で、実現へ幅広い参加を呼びかけます。

「パルシステム 2030 ビジョン」のうち、消費者志向に関連する主な記載(抜粋)は、以下の通りです。

＜みんなの声を聴き、かついかすこと＞

1) 一人ひとりの生涯を通じた食と健康なくらしによりそえる、安全で安心な商品を開発し、その情報を適切に伝えることで、くらしが求める多様なニーズに応えます。
2) 組合員と「つくり手」の交流を促進し、お互いの理解を深めることで絆をさらに確かなものにするために、「つくり手」を多様な形で応援できる新たな仕組みや機会をつくりだします。
3) 魅力ある農林水産業と製造業の構築を組合員の声を生かした商品づくりで促進します。「つくり手」が誇りを持ち、生産や製造の担い手が増えて地域経済や社会が元気になる仕組みづくりに取り組みます。

＜未来・次世代のために取り組むこと＞

1) おいしさを味わうことや食文化の継承、食育を大切にしながら、生産や物流の課題を知って商品を選ぶエシカル消費の考え方を地域社会に広げます。
2) あらゆる立場の人たちの課題に関心を持ち、伝え合っていくことで、お互いの多様性を尊重し、一人ひとりが大切にされる共生の社会を実現します。
3) 商品の開発・改善により、プラスチックをはじめとする廃棄物や温室効果ガス、食品ロスの削減を実現させ、環境に配慮した消費へのきりかえを加速させます。

また上記方針の推進にあたり、引き続き法令の遵守ならびにコーポレートガバナンスの強化に努めます。行動規範の遵守および内部統制システムの適正な運用によって、「正直」「公開」「社会的責任」「他者への配慮」という協同組合(員)倫理の組織的な具現化を図ります。

以上